

検査項目変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、検査項目の変更について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

● 検査内容変更項目

■ 実施日 2022年4月1日(金) ご依頼分より

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
3681 2	リパーゼ	検査方法	合成基質比色法	酵素法	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更
		基準値 (単位)	血清 13~55 (U/L)	血清 11~59 (U/L)	
		報告範囲	1 未満、 1~99999999	3 未満、 3~99999999	
		報告桁数	変更はありません	有効 8、整数 8、小数 0	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 3B180-0000 -023-271	
A282 8	IGF-1 (ソマトメジンC) [ECLIA]	サービス報告書	小児基準値検査報告書対応	小児基準値検査報告書非対応	現在報告書対応中項目の試薬発売中止に伴った対応
3001 6	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	項目コード	A477 2	3001 6	学会の方針に従った、IFCC標準化対応用の試薬変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		項目名称	甲状腺刺激ホルモン (TSH) [CLEIA] IFCC	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	
		検査方法	CLEIA	ECLIA	
		基準値 (単位)	0.61~4.23 (μIU/mL)	0.500~5.00 (μIU/mL)	
		報告範囲 (単位)	0.01 未満、 0.01~199、 200 以上 (μIU/mL)	0.005 未満、 0.005~99.9、 100 以上 (μIU/mL)	
3023 2	遊離トリヨードサイロニン (Free T3)	項目コード	A449 3	3023 2	測定試薬の変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		検査方法	CLEIA	ECLIA	
		基準値 (単位)	2.52~4.06 (pg/mL)	2.30~4.30 (pg/mL)	
		報告範囲 (単位)	0.67 未満 0.67~29.9 30.0 以上 (pg/mL)	0.40 未満 0.40~32.4 32.5 以上 (pg/mL)	
3025 0	遊離サイロキシン (Free T4)	項目コード	A455 6	3025 0	測定試薬の変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		検査方法	CLEIA	ECLIA	
		基準値 (単位)	0.75~1.45 (ng/dL)	0.90~1.70 (ng/dL)	
		報告範囲 (単位)	0.10 未満 0.10~9.9 10.0 以上 (ng/dL)	0.40 未満 0.40~7.76 7.77 以上 (ng/dL)	

● 新規受託項目

■ 実施日2022年 4月 1日（金）ご依頼分より

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
B603 0	抗カルジオリピン IgG 抗体 5G508-0000-023-023	血清 0.3	O1 ↓ X	冷蔵 (7日)	2~4	232 ※5	ELISA	12.3 以下 (U/mL)	&I
B599 6	抗カルジオリピン IgM 抗体 5G510-0000-023-023			冷蔵 (14日)				20.8 以下 (U/mL)	

※5：免疫学的検査判断料

● 検査受託中止項目

■ 実施日2022年 3月 31日（木）ご依頼分をもって受託中止

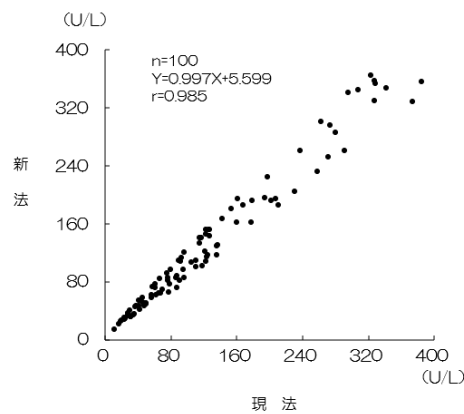
項目コード	検査項目	理由	備考
3174 5	グリココール酸 (CG)	試薬発売 中止のため	代替項目はありません。
3804 5	遊離フェニトイン		
3811 7	遊離ハルプロ酸		
3170 9	IGF-I (ソマトメジン C)		代替項目： A282 8 IGF-1 (ソマトメジン C)
4534 4	コルチゾール (尿中)		代替項目については新規項目の導入を予定しております。 新規項目導入の案内をお待ちください。
4031 2	アンギオテンシン I		代替項目はありません。
4032 1	アンギオテンシン II		
3038 6	ガストリン		代替項目については新規項目の導入を予定しております。 新規項目導入の案内をお待ちください。
4605 5	尿中ミオグロビン		
A722 9	ハウスダスト 2 (特異的 IgE (シングルアレルゲン) CLEIA 法) (アラスタット)		代替項目： A721 0 ハウスダスト 1 (特異的 IgE (シングルアレルゲン) CLEIA 法) (アラスタット) ハウスダスト 2 の依頼があった際は、ハウスダスト 1 を検査しご報告させていただきます
6730 4	抗カルジオリピン抗体 (IgG)	新規項目 導入のため	代替項目： B603 0 抗カルジオリピン IgG 抗体
6757 5	抗カルジオリピン抗体 (IgM)		代替項目： B599 6 抗カルジオリピン IgM 抗体
3001 6	甲状腺刺激ホルモン (TSH)		代替項目： A477 2 甲状腺刺激ホルモン (TSH) [CLEIA] IFCC
3023 2	遊離トリヨードサイロニン (Free T3)		代替項目： A449 3 遊離トリヨードサイロニン (Free T3) [CLEIA]
3025 0	遊離サイロキシン (Free T4)		代替項目： A455 6 遊離サイロキシン (Free T4) [CLEIA]

● リパーゼ

測定試薬終売に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。これに伴い、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
3681 2	リパーゼ	検査方法	合成基質比色法	酵素法
		基準値 (単位)	血清 13~55 (U/L)	血清 11~59 (U/L)
		報告範囲	1 未満、 1~99999999	3 未満、 3~99999999
		報告桁数	変更はありません	有効 8、整数 8、 小数 0
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 3B180-0000 -023- 271

▼現法と新法の比較



●検査方法参考文献

宇治 義則, 他: 検査と技術25 (10) : 819~824, 1997.

● ハウスダスト2

測定試薬終売に伴い、代替項目（ハウスダスト1）へ変更させていただきます。
ハウスダスト2の依頼が発生した場合は、ハウスダスト1を検査しご報告させていただきます。

クラス相関（ハウスダスト1とハウスダスト2）

	6								2
	5								10
	4					11	4		
	3				20				
	2			7	3				
	1	3	8	2					
	0	103	4						
ハウスダスト2	0	1	2	3	4	5	6		
	ハウスダスト1								

陽性一致率 = 97%
 陰性一致率 = 97%
 判定一致率 = 95%
 N = 177

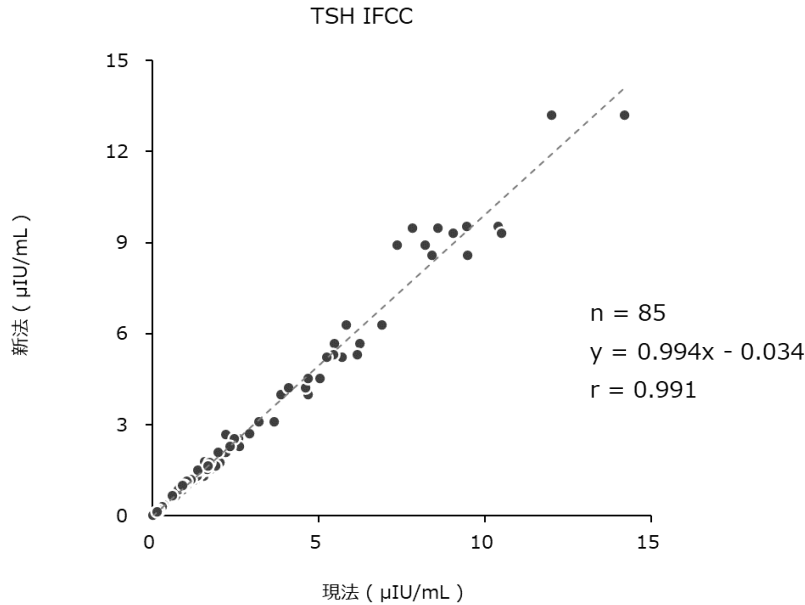
●検査方法参考文献

試薬メーカー関連データ参照

● 甲状腺刺激ホルモン (TSH)

日本臨床検査医学会の方針に従った、IFCC標準化対応の試薬へと変更させていただきます。
これに伴い、項目コード、項目名称、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較



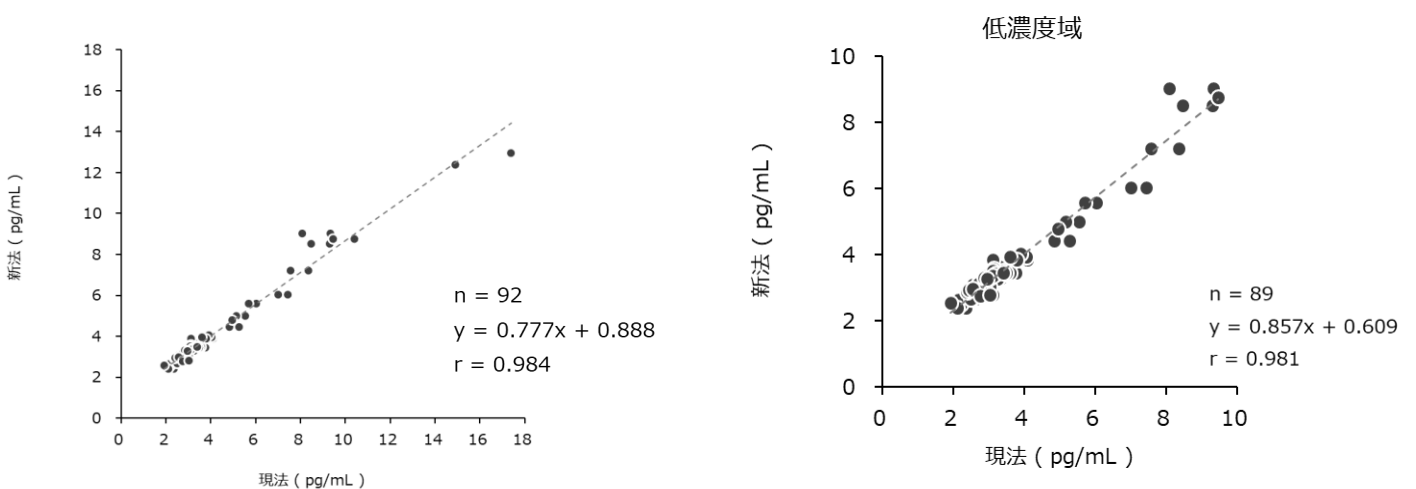
●検査方法参考文献

北川 亘, 他: 医学と薬学78 (1) : 59~70, 2021.

● 遊離トリヨードサイロニン (Free T3)

測定試薬を変更させていただきます。
これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較



●検査方法参考文献

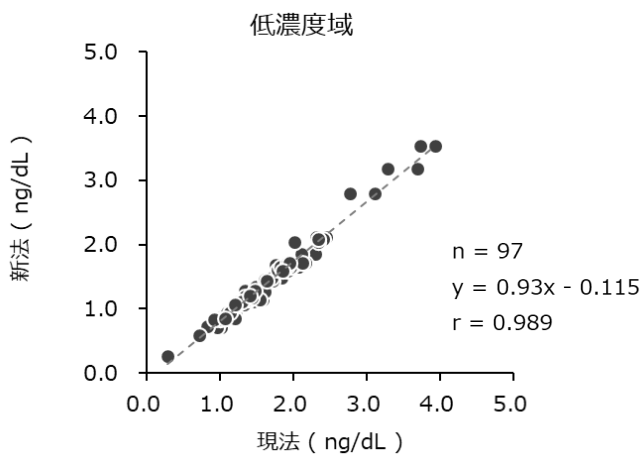
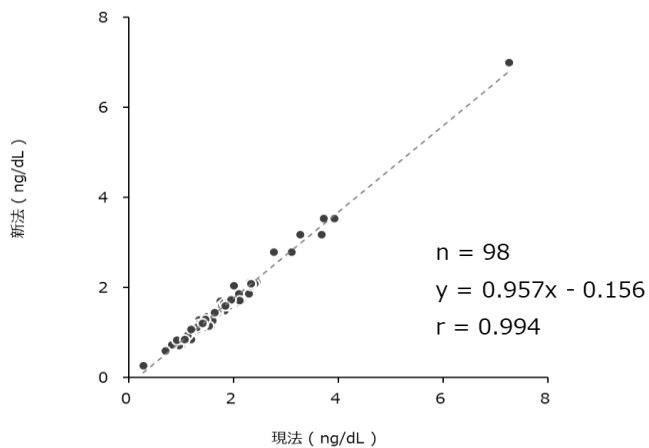
矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学77 (5) : 793~804, 2020.

● 遊離サイロキシシン (Free T4)

測定試薬を変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較



●検査方法参考文献

矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学77 (5) : 793~804, 2020.